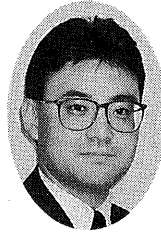


飛翔OB会

同窓会
会報

平成10年3月1日
第5号

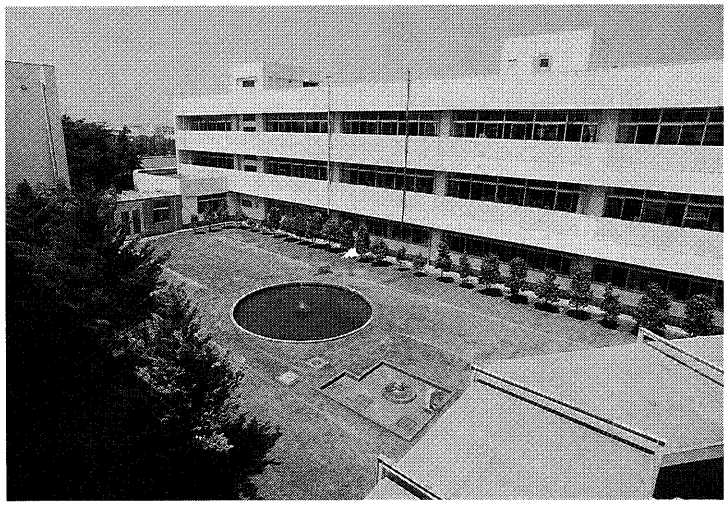
グローバルな活動



同窓会会長 熊谷雄一

卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。昨今、日本の社会は、過去からは予想もできな

かった大変厳しい状況下にあります。母校で体験しながら得た様々な知識を土台とし、さらに精進を続け、自分の夢の実現に向けて勇気を持って挑戦して頂きたいと思



又、本年開設予定の厚生年金休暇センターに、(財)青森県社会保険協会員南支店様の御配慮により母校の美術コースの作品が展示される事になっております。年金制度については、現在大きな社会問題の一つであるにもかかわらず、我々にとっては、あまり身近な問題として捕えていなかった様に思います。しかし

同窓会の会員の皆様におかれましては、常日頃より同窓会活動に御協力頂きまして誠にありがとうございます。お陰様で昨年は関東支部が二十周年を迎え、記念総会を盛大に開催する事ができました。さらに最近では、仙台を中心とした周辺にも多数の卒業生が活躍している事が指摘されており、新たな支部の発足も検討していかねばならないと考えております。

年金問題は世代を越えた問題であり、我々自身の、高齢化社会、年金制度に対する意識を高める為にも世代間交流の場として、年金休暇センターに母校の作品が展示される事は大変有意義であると理解しております。同窓会としましても、要請があれば積極的に支援していきたいと思っております。



同窓会関東支部 支部長 高森 敏

皆さん、御卒業おめでとうございます。我々関東支部同窓会一同、心よりお祝い申し上げます。思い起こせば十九年前、私も皆さんと同じように、思い出多き八工大二高を卒業しました。ちょうど皆さんが生まれた頃

母校では、カナダのリッチモンド市立高校と相互に短期交換留学を行なっておりますが、昨年は同窓会事務局でもホームステイを受け入れさせて頂きました。この事も母校に対する協力の一環で

はありますが、同窓会といたしましても、国際化の時代に大変貴重な体験をさせて頂いたと思っております。海外の方々とは違和感なく交流できる事が、国際人としての第一歩であると思えます。そして、他国の事情を理解する事も大切な事ですが、自国である日本の歴史、文化、風土、伝統等を海外の方々に自信を持って説明できる知識と能力が国際人として必要である様に思われます。お互いの国

情を理解し合う所から、本当の国際交流が始まるのではないのでしょうか。今後も、機会があればホームステイの受け入れを実施していきたいと思っております。

卒業を迎えた事になります。このジェネレーションギャップを感じつつ、そのギャップを跳ね返そうと、年に一度の関東支部同窓会を企画し、会員の皆様と会えることを楽しみにしております。昨年一九九七年は大手証券企業の破綻で幕を閉

じ、正に「金融ビッグバン」を予兆させる激動の時代を迎えております。今年卒業された皆さんは、進学・就職という人生のビックバンを迎え、スケールこそ違え、変革の時代にある訳です。変革とは、変え改める事と、変わりが改める事の二つの意味が

最近、アメリカの経済学者の中で、グローバルゼーション(国際化)とローカル(地域性)を一

緒にした「グローバルゼーション」という言葉が頻繁に使われているようです。国際的な視野を持ちながら、地域に密着して行動するという意味であろうかと思われま

が、ひいては母校発展の為に寄与していくものと確信しております。飛翔OB会は、会員の皆様と一緒に二十一年世紀に向けて、グローバルな活動を展開してまいりたいと思っております。

事務局より

- ① 期生会を開催した回生には本部から、補助金5,000円が支給されますのでご連絡下さい。
- ② 飛翔OB会新聞の原稿を募集しております。近況報告等ある方は事務局までご連絡下さい。
- ③ 住所、電話番号、勤務先等に変更がありましたら、はかき又は電話にて事務局までご連絡下さい。

*同窓会ホームページアドレス <http://www.hi-net.or.jp/koudai2/sm5061@hi-net.or.jp> (住吉)

*事務局Eメール fwgk5396@mb.infoweb.or.jp (高森)

*入力には半角英小文字をお願い致します

*同窓会事務局 ☎031-0001 八戸市瀬家五丁目16-20 住吉治彦方
TEL FAX 0178-46-1571

あり、皆さんにとっては後者が当てはまると思えます。そうです。自分自身の意思で変わり改める事ができるのです。いささか大袈裟な表現をしましたが、環境変化を味方に付けて、大いなる飛躍・変革を期待します。(御米電子山梨営業所 所長)



第23回同窓会開催する 決算日変更などすべて承認される

平成九年八月十六日午後六時より八戸パークホテルにおいて、「第二十二回八戸工業大学第二高等学校同窓会」が開催されました。
熊谷雄一会長の挨拶で



スタートし、その中で「この一年新たなシステムとして、事務局を中心とする運営を行ってきて、会が活発化してました。今後とも会員の皆様の協力の下に活動を強化したい」と思っています。と挨拶がありました。

審議に入り、第一号議案「平成八年度活動報告及び会計報告」と第二号「平成九年度活動計画及び予算案」が報告され満場一致で承認されました。
第三号議案では、「会計決算日改正の件」では、現行の七月三十一日の決算日から二月二十八日(二十九日)に変更し、運営したいとの事でした。住吉治彦事務長より主旨説明があり、満場一致で承認されました。これに伴い第二十二期予算及び活動計画は、平成十年二月二十八日までの変則決算となりました。
第四号議案「その他」では、決算日変更に伴い一部運営方法の変更議題が、住吉治彦事務長から提出され、審議の結果これも満場一致で承認され総会は無事終了しました。

零回生同期会

石上 正 則



零回生同期会は、平成九年八月十六日(土)午後九時より、ロー丁十録で開催した。昭和五十二年三月に卒業して以来二十

二年目の催しで、今回は恩師畠山 昭先生の還暦祝いと、私達の厄払いを兼ねての同期会であった。

全員が貫禄があり、また中年親父としか呼べない姿にお互いに安心もした。中には、年齢以上に老けた奴もいて苦勞をし

ているんだなあと。思った。三年間担任だった畠山先生の白髪に時の流れを感じ、全員夜更けまで高校時代のことや現在の様子などが花が咲いた。最後に、在学中お世話になりました畠山先生に腕時計とちゃんちゃんこの代わりに赤色のジャンパーを贈り散会した。

次回の同期会は、未定であるが、又元気に参加できるように健康に留意して頑張ろうと思う。(石上建設(株)取締役専務)

零回生とは

零回生は、実は二高卒業ではなく、正確には八戸電波工業高等学校普通科の第十四回卒業生です。昭和四十八年四月、大開に校舎が新築されて、普通科がこの校舎に移動し、「大開校舎」と呼ばれる中で零回生は二年間学んだ経緯があり、同窓会発足したと同時に二高同窓会会員として入会が許されたのです。



同窓会特製テレホンカードを1枚1,050円で販売しております。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡下さい。(送料・税込み)

- ◇ 一部運営方法の変更がなされました。次の点が挙げられます。
- ① 総会
今までは、同窓会出席者によって決議されましたが、今後は、幹事会で決議されます。定例幹事会は、二月二十八日決算日より二カ月以内に毎年開催します。
- ② 臨時総会
重要案件や規約改正など会長が必要と見なした場合のみ、同窓会懇親会の前に開催し、出席会員の決議をします。
- ③ 同窓会
同窓会総会を定例幹事会で実施することになりましたので、第二十三回からの同窓会は、懇親会のみとします。
- ④ 又、仮称「二高納涼会」と改め開催します。
- ⑤ 同窓会事務局
平成九年七月、石上正則監査のご協力を得まして、住吉事務長宅の車庫を私費で八畳の同窓会事務所に改築しました。これによって、会員皆様からのご意見・質問・住所変更等がありましたら、二十四時間体制で、電話・FAX・Eメールで受付しております。又、少人数での会議も可能になりました。
- ⑥ 新役員の紹介
萬徳(旧姓荒谷)道子さんが、三月三十一日付で辞任されました。後任には、第六回生の稲葉嘉浩氏を理事として、七月四日の役員会で承認されました。

親睦会

懇親会では、田野岡嗣典副会長の進行で開会されました。熊谷会長の挨拶に引き続き清沢 正前 PTA・OB会会長より祝辞を承り、畠山 昭副校長先生の乾杯音頭で祝宴にはいりました。

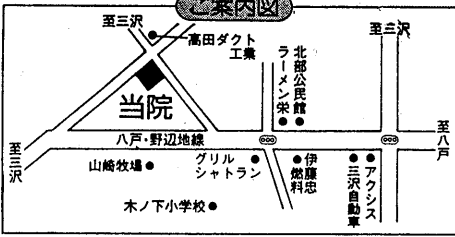
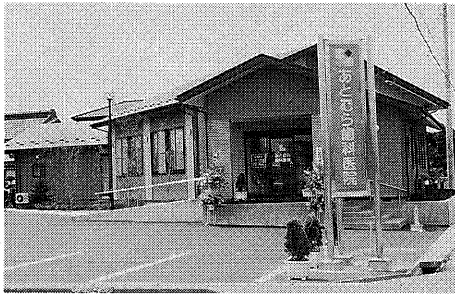
今回から、PTA会長の金入孝明様と前 PTA・OB会会長の清沢 正様の二名をお招きし、又多くの先生方にも出席していただき例年になく大いに盛り上がりました。特に、余興のビンゴゲームでは、携帯電話やMDプレーヤー等豪華景品を目の前にして参加者全員興奮して楽しい一時を過ごしました。又、川端有紀子さんデザインの同窓会特製のテレホンカードも好評で、この企画は次回の関東支部同窓会や納涼会にも引き続き実施したいと思っております。最後は校歌と二高讃歌を全員で斉唱してお開きとなりました。

新幹事紹介

五月二十四日関東支部同窓会において、萬徳(荒谷)道子(14回生) 三浦裕美子(19回生) 増尾 文人(22回生) 以上三名が関東支部幹事として任命されました。

会員広場

開院 しました



平成九年四月三十日、農地の宅地化によって人口が増えつつある三沢市寄りの下田町で、歯科医院を開院しました。医院は、交差点の角地

に立地し、駐車スペースを多くとり又、高齢者や身体障害者の患者さんの為に、ポーチに緩やかなスロープを設けております。又、院内は落ち着いた雰囲気治療が受けられるように淡い温かい内装の仕上げにしております。そして、地域の皆様の健康維持増進の為に日々努力しておりますので、宜しくお願い致します。(岩手医科大学卒)

あとむら歯科医院
院長 後村 誠 (10回生)

上北郡下田町字古間木山
五〇一五〇二
電話〇二七六―五〇一―
八一七

診療時間
月～金 九時～十八時半
土 九時～十三時
日曜・祝祭日休診

卒業生からの声

「思い出と将来の夢」

「二高と私」

川端 万里子

二高に入学してから三年が過ぎ、あっといふ間にもう卒業を向かえます。思っていた以上に早かった三年間ですが、高校生活で得たことは沢山あり、これからの人生に生かされていくと思えます。自分を精神面でも鍛えることができた部活動では、途中挫折しそうにもなったが、最後まで頑

張り通したことで自分に自信をつけることができました。また、積極的に参加した講座では、いろいろな知識や経験を増やすことができました。

二高へ入ってよかったと思えるのは、充実した高校生活を送ることができたからだと思えます。私達の心の支えとなり、ご指導して下さいました先生方には本当に感謝しています。これから新たな道

が広がります。二高で学んだこと、得たことを生かして、これからの人生に役立てていきたいと思っております。

「沢山の思い出」

中居 知義

今ふり返って見ると、三年間という月日はあっという間でした。この三年間の間に沢山の思い出ができました。普段の授

小さな国際交流

同窓会事務局長

6回生 住吉 砂津貴



「留学生の短期ホームステイを引き受けてもいいかな？」

主人からこう切り出された時には、一瞬目がテンになりました。正直、「大丈夫かな？」と思いましたが、子供達にとって良い経験になればと思い、お引き受けする事にしました。

我が家に来たのはロバート・マ君。背が高くなかなかカッコイイ高校生です。(後で聞いたら彼は「追っかけがいららしい」)

子供達は最初こそカタコトの英語で会話していたものの、終には日本語で話しかける始末。それでも彼は真剣に話を聞いていました。(彼は少し日本語がわかります)

帰国してからは電子メールでのやり取りが続いて十分活かされたいと思います。そして、今までいろいろな面でご指導や援助をして下さった先生方には本当に感謝しています。有難うございました。

卒業するにあたり、私が二高生だったこと、良い友人、先生方に巡り会えたことに誇りと嬉しさを感じます。これからは自分の進路を歩んでいきながら、自分をさらに高めていきたいと思っております。

業、生徒会活動、修学旅行、二高祭などと沢山の思い出があります。入學当初は、私立高校のイメージは県立高校より劣るのではという考えがありましたが、今ではそのようなことは全くありません。むしろ県立高校に入學しなくてよかったと思っております。二高に入學したから、良い友達ができ、沢山のことを学べたのだと思っております。これらの二高で得たものは、これからの人生

結婚しました

- 小野野浩之(6回生)
- JA是川勤務
- 平田 武雄(11回生)
- 青森県警勤務
- 八畷 貴子(13回生)
- (旧姓住吉)

- 板橋中央病院勤務
- 萬徳 章義(14回生)
- 萬徳 道子(14回生)
- (旧姓荒谷)
- 三好 裕美(16回生)
- (旧姓布施)
- グラフィックデザイナー
- フリー

短い間でしたが、楽しい経験でした。機会があったら又受け入れたいと思っています。

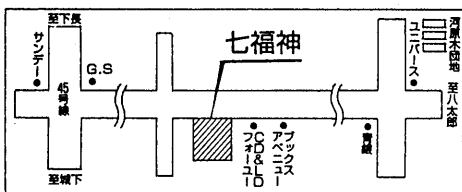
開店しました

昨年八月二十五日、八戸市石堂に酒屋味工房「七福神」を開店しました。何方でも気軽に飲んで食べて楽しい一時をお過ごし下さい。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

味工房 七福神
田名部久人(4回生)

八戸市石堂一の二七の七
TEL〇一七八―二八一―
一一七七

●営業時間
十七時～二十三日
●定休日 日曜日
●宴会は二十名まで承ります。



八戸市石堂1丁目27-7 ☎0178-28-1177



「ピンクレディー男人生を振り返る」後編

同窓会副会長 佐々木 睦 生 4 回生

(前編のあらすじ)

高校三年の秋、進学して中学校の教師になりました。母の勧めもあって、電電公社(現 N T T)の試験を受け、一次、二次と合格していた。

就職か進学か、当時十八歳のピンクレディー男は大いに悩んだ。しかしその悩みは、現在の同窓会関東支部長で同級生の高森 敏君の言葉で解決

した。彼に言わせると、大学には日中は仕事をし、夜間だけ大学に通える(夜間部)がある。しかも、二部で入学しても、編入試験に合格すれば一部(昼間部)への編入も可能だ。彼も、N大の二部を受けるらしい。

この辺でもうわかったと思うが、私は就職か進学かの二者択一ではなく、昼は電電公社で仕事をし、夜に大学に通う事のできる二部を目指す事にしたのだ。

そして、電電公社の三次試験(最終面接)も終わり、最後の関門、巨大二部を受験した。しかし結果はサクラチル——つまり、電電公社の合格だけが残り、進学コースに在籍しながら就職という結果になったのである。

高校卒業後上京し、文京区の大家電話局に配属になったが、やはり、自分があれだけ夢見て来た教師への道が捨てきれず、一年後、ややランクを落としてT大二部を受験、合格した。

最初の頃は意気揚々、欠席もなく張り切って通っていたのだが、昼の仕事の方で残業があったり、飲み会があったりという事が増え、出席率は年を追うごとに悪くなっていったのが正直な所であった。ましてや、一部への編入試験を受けよう

などという考えはとうに頭から離れ、何とか教職コースの単位を取って、とにかく卒業……という考えだけだったと思う。昼間は仕事をし、夜は授業や補習を受けながら何とか最後の卒論を提出し、やっこの思いで卒業したという感じが強い。

情けない事に、その後の公務員試験等諸準備には手を出さず終いだ。結局、教師への夢は叶わなかった。電電公社をやめて教師への道を歩む勇気もなかった。その頃は仕事の中身も覚え、このままでもいいという気持ちが強かったのだと思う。

しかし、少しだけ自分の夢に触れる機会があった。在学中の教育実習である。会社から二週間の有給休暇をもらい、盆と正月しか帰らない実家から、我が母校八戸二中に喜び勇んで通ったものだった。

当時の八戸市立第二中学校二年一組の皆さん、覚えていますか。他の先生方始め、生徒の皆さんは何十人とやって来る教育実習生の一人としか見ないでしようが、私にとっては今でも、いいえ、これからもずっと忘れられない二週間でした。

学校への通学路で「先生、お早うございます」と言われ、何と感激だったことか。一緒に食べた給食……味よりもあの雰



二高祭でピンクレディーを踊る筆者一左一

囲気がたまらない。しどろもどろで教えた国語の授業……チョークの感触。バレエ部やソフトボール部での部活……卓球部や他の部活にも顔出したっけ。そして何と云っても合唱コンクールの練習。いつも放課後に練習していたけど、私の教育実習最終日に泣きながら歌ってくれた二年一組の皆さん、元気でですか。

私は、自分の夢は実現できなかったが、あの二週間の教育実習は、自分の人生の中で大きな財産であるし、大きな糧となつて心の中にしまっている。そういう経験も、自分の夢をあきらめないで夜間の大学に通ったからできたと思っている。

今同卒業の皆さんも、在学中の皆さんも、自分の夢とか貫きたい事があるのなら一生懸命努力して

みてほしい。あきらめずに頑張ってみてほしい。きっと将来、何か良い事があると思うし、その努力した事が、後で良い結果を生むと思う。在学中は特に成績も良くなく、先生に迷惑をかけた文化祭でピンクレディーを踊ったりという私の青春を振り返ってみましたが、いかがだったでしょうか。

又、教育実習で担当した八戸二中二年一組の中で、工大二高卒の方がいるはずですので、もし良かったら今年同窓会に来られて、私に声をかけて下さい。私はいつも、ステージの上でゲームの司会をしています。(東洋大卒。平成四年UターンでN T T八戸支店に勤務。現在に至る。)

同窓会本部より 平成九年度同窓会幹事決定

平成九年度卒業生(第二十三回生)の中から、十八名の同窓会幹事が選出されました。

毎年、選ばれた幹事の皆さんには、関東支部総会や八戸で行なわれる同窓会納涼会の運営の手伝いをお願いしています。これらの会の参加者の多くは、その年の三月に卒業した新会員が中心となっています。従って、一般の新会員の皆さんにお願いしたいことは、自ら積極的にこれらの会に参加し、幹事の負担を軽減してあげて下さい。近年同窓会では、アン

ケイトを実施し、同窓会の事業に一人でも多くの会員が参加できるように努力しています。その一例として、毎年八月に開かれていた同窓会総会を二つに分けました。予算・決算・事業計画を審議する会議を、三月に総会として行ない、懇親会を「納涼会」と名称を新たにし、より参加しやすい方式をとりました。

まだ、同窓会といっても懐かしさが湧かない会員が多いとは思いますが、同じ学舎で学んだ者同士交流を深めたいものです。

- (関東地区)
 - 一組 中 居 知 義
 - 二組 佐々木 愛
 - 三組 安 藤 律 子
 - 四組 松 岡 智 子
 - 五組 磯 田 隼 一
 - 六組 大久保 由 香
 - 七組 小笠原 千 知
 - 八組 南 小百合
 - 九組 小 林 恵
 - (八戸地区)
 - 石 原 学
 - 佐々木 昌 子
 - 高 橋 祥 郎
 - 佐々木 修 子
 - 吉 田 勝 二
 - 伊 藤 健 二
 - 榎 本 智 修
 - 大久保 真 一
 - 小 泉 久 弥 子
- 第二十一回関東支部総会
平成十年五月二十三日
(土) 十七時四十分
●ホテル聚楽(東京都千代田区神田淡路町二一九)
電話〇三一一三三五一
七二二二
●会費 二千元
- 第二十三回同窓会納涼会
平成十年八月十五日
(土) 十八時
●八戸パークホテル(八戸市吹上二丁目十五一)
電話〇一七八一四三一
一一一一
●会費 二千元